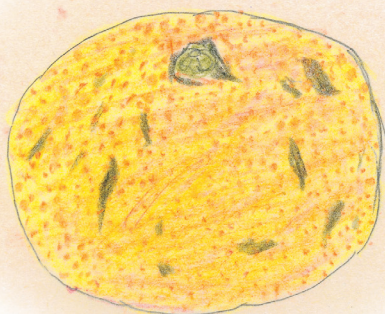


カーも落ち着きハーセプチンだけの治療で、痺れもましになっていった。何より人の目を見て大丈夫ですよ、乳がん治療は日々進歩しているからと励まされた。その後タイケルブとゼローダに代わり、マーカーも落ち着いてきた。

8ヶ月過ぎてマーカー値が上がって、アバスチンに替えましたが、白血球の下がり方を見て、免疫力もつけて、自分の力を信じて乗り越えて行こうと、看護師さんドクターに支えていただき、感謝して前向きにがんばろうと決めました。

あきらめない。必ず助けてくれる人はいる。乳がんは新しい抗がん剤も認可され易いからと、支えてくれる友達や医療者の方々の力で歩いて行けます。

これからは自分の経験をもとに、乳がん啓発活動にがんばっていこうと、患者の人権やおっぱいを失うまえに気づいてほしいことを伝えていこうと思ってます。



ありがとう

K M

母が癌の告知を受けた時、「先生見つけていただいてありがとう。有り難い。有り難い」と言っていました。傍にいた私はうろたえているのに落ち着きはらって言ったのです。

後で何故そう言ったのか母に聞くと、次のように言いました。嫌なこと、苦しいこと、悲しいことが起こっても歯を食いしばって、「ありがとう」と言うと逆に良いことが起こるんだよ。「ありがとう」という言葉を漢字で書いたら「有り難う」難が有ると書くだろう。何か嫌なことがあった時にこそ、そこで「ありがとう」と言うと不幸の連鎖が断ち切れるんだよ、と……

簡単なようではなかなか実行出来ないことではありますが、少しでも実行できるように心がけています。皆様も苦しいとき、辛いとき、悲しいときにそっと心で呟いてみて下さい。「ありがとう」と……